

令和3年度第9回天童市教育委員会について（報告）

日 時 令和4年2月17日（木）午前10時から11時45分まで
場 所 天童市教育委員会 第1会議室
出席委員 相澤一彦教育長、工藤昭広委員、村山晴香委員、松村昌子委員、
大内あゆ子委員
出席者 武田文敏教育次長兼教育総務課長、町田真裕学校教育課長、
矢萩茂生涯学習課長、大沼敦学校給食センター所長、
事務局（教育総務課職員）

議 事

議第21号 令和3年度教育委員会小中学校優秀児童・生徒褒賞について
議第22号 令和3年度教育委員会所管の3月補正予算（第11号）について
議第23号 令和4年度教育委員会所管の当初予算について
議第24号 天童市立公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正について
議第25号 天童市市民プラザの設置及び管理に関する条例の一部改正について

各課からの連絡

（1）教育総務課

- ・小中学校卒業式・入学式への教育委員出席について
- ・学校施設の新型コロナ蔓延防止措置の対応について

（2）学校教育課

- ・小中学校における新型コロナの対応状況について

（3）生涯学習課

- ・図書館運営審議会の開催について
- ・社会教育委員会議の開催について
- ・新型コロナによる公民館施設の利用制限等の対応について

（4）学校給食センター

- ・食器洗浄機更新プロポーザル審査会の状況について
- ・学校給食今後の提供メニューについて

<教育長あいさつ>

おはようございます。新型コロナウイルスのオミクロン株が県内でも猛威を振るっております。市内の小中学校でも影響が出始めており、学年閉鎖を実施した学校もあります。大きな広がりにならないことを祈っております。

校長会でお話したことについて、新型コロナに関する情報の取り扱いについて、校長先生が全責任を負うようにとお願いしました。校長の仕事は、大変ですけれど

もそういう気概を持っていただきたいと思いますところでは。

ICTの活用について、市内の全児童生徒に新型コロナの第6波が流行る前に、端末が自宅でも繋がって使えるかタブレットを自宅に持ち帰らせて総点検を行いました。

学校給食の空弁について本市独自の取り組みであり、始めた当初は御飯給食の回数も少なく良かったのですが、現在のようにほぼ毎日となると、持ち帰って洗う手間を考えて空弁を解消する方向で考えております。そのため食器洗浄機の更新いたします。先日、機器を選定する会議がありましたが、値段だけでなくいい方向に選定させていただきました。

市民科副読本について、完成しこれから中学生のすべてのタブレットに配信いたします。

学校教育課の来年度の基本目標について、昨年、いろいろ吟味したので今年度目標をまた踏襲していきます。言語活用、情報活用、多様性、グローバル、ジェンダーを含めてこれからも充実させていきます。

最後に、卒業式の準備が各学校で進んでおります。委員には入学式も含めて、ご足労をおかけしますが出席をお願いいたします。

< 議 事 >

議第21号 令和3年度教育委員会小中学校優秀児童・生徒褒賞について

< 可決する >

審議経過

特になし。

< 議 事 >

議第22号 令和3年度教育委員会所管の3月補正予算（第11号）について

< 可決する >

審議経過

特になし。

< 議 事 >

議第23号 令和4年度教育委員会所管の当初予算について

< 可決する >

審議経過

松村委員：生涯学習サポーターバンクについて、具体的に教えてほしい。登録は市報で募集しているのか。また、サポーターが十分に活動行い、市民も十分に理解しているか。

生涯学習課長： こういった講座を受けたい、または知りたいということがあれば、登録している方を紹介していく形で運用している。また、講師になっていた

だけの方を広く募集して登録を促している。現在94名ほど登録しており、これからも増やしていきたい。

市報でも募集しているが、年1回登録している方に継続の確認をしている。登録されている方が、十分に活動できているかは、やはり受けたいものに人気が集中してしまうことがある。市民がしっかり知っているかといえは少し反省する部分もあり、市立公民館の職員がしっかり面倒をみながら利用いただいている。これからも周知徹底していきたい。

大内委員： 学校給食センターのアレルギー調理室増設について、大変いいことだと思う。空弁の解消も保護者の負担軽減が図られて良いことだ。

学校給食センター所長： アレルギー食の対応が増えている中、調理スペースが狭くなり対応が難しくなっている。令和5年になるが、増築してきちんとした調理室で対応していきたい。

松村委員： 先生方の働き方改革の中で、精神的なケア、意欲向上について具体的に。

学校教育課長： 時間管理だが、仕事内容も精査していく必要がある。校務支援システムにより、手書きのものがパソコンで作成できるようになり業務が軽減された。空いた時間は子どもたちと触れあえる時間を増やし、意欲向上を図ってきたい。また、無理してやっている仕事を思い切って削ることなど、学校経営も大事である。

工藤委員： 学校の電子化によりデータの取り扱いはどうなっているか。

学校教育課長： 各学校でセキュリティーポリシーを定め、原則データの持ち出しはしないようにしている。

また、最近ではデータがクラウド化されており、持ち出す必要がなくなっている。

< 議 事 >

議第24号 天童市立公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正について
< 可決する >

審議経過

特になし。

< 議 事 >

議第25号 天童市市民プラザの設置及び管理に関する条例の一部改正について
< 可決する >

審議経過

特になし。

< 報 告 >

1 教育総務課 ア 天童市振興審議会委員への推薦について

意見等

特になし。

< 報 告 >

学校教育課 ア 第2回いじめ問題対策連絡協議会について

意見等

工藤委員：不登校児童生徒のうち、アウトースクールに通っている人数はどれくらいか。

学校教育課長：年度当初数名だったのが年間を通して増えている。どこにも出なかった子どもたちが、アウトースクールで遠足に行ったり楽しいことを通して、子どもたちがやりたいことをどうしたら実現できるかを、子どもたちと相談しながら成功体験を積み重ねることで楽しく生活している。それを聞いて通ってみたい子どもが増えて、現在では10名を超えて在籍している。大人数は苦手でも、少人数の中で訓練をしていながら社会に出ていくための力をつけていければと思う。

工藤委員：アウトースクールで、いろんな場面に一步踏み出せる子どもを一人でも多く増やせればと思う。

村山委員：すごく身近な話題であり、不登校のお子さんを抱える保護者に、どのように接すればいいのかアドバイスがあれば教えてほしい。また、いじめの様態でその他とは、具体的にどのようなことなのか。

学校教育課長：不登校の家庭について、一生懸命しすぎて子どもに過干渉なタイプと、逆に子どもが困っていても何もしないタイプの非常に極端な家庭が多い。自分の感覚以外の、いろんな方とお話することが大事なのかなと思います。違う視点で見ることで安心できることもある。雑談でもいいのでそのように接してくださいと思う。

いじめの様態のその他とは、具体的にはわからないが、いじめられている原因が見当たらない場合ではないかと推測する。本人がいやな思いをしているのに、実態がない場合はその他に含まれると思う。

教育長：その他意見なし。以上で第9回教育委員会会議を終了します。